

(様式1)

自 己 評 価 表

(愛媛県立今治南高等学校)

学校番号(15)

グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）	カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）
本校では、夢の実現に向けて自らを鍛え、社会の中でたくましく生きていくバイタリティあふれる生徒を育てます。 1 目標の実現に向けて、自ら課題に向き合うとともに、その解決に向けて粘り強くチャレンジする意欲を育てます。 2 基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、様々な情報を活用しながら、自らキャリアを形成していく力を育てます。 3 他者との協働により、よりよい社会や人間関係を築こうとする主体的な行動力やコミュニケーション力を育てます。	1 基礎学力の向上や資格取得、進学や就職など、生徒の進路に応じた学びを実現するために、類型別・講座別の授業を実施します。（探究類型、教養類型、情報・ビジネス類型） 2 ICTの効果的な活用により、生徒一人一人の適性・能力に応じたきめ細かく丁寧な個別指導を実施します。（普通科） 2 農業のスペシャリストを育成するために、課題研究や総合実習などを通じて、生徒一人一人の適性・能力に応じたきめ細かく丁寧な個別指導を実施します。（農業科） 3 学校行事や生徒会活動、部活動に主体的に参加することを通して、自らを鍛え、更なる高みに果敢にチャレンジする姿勢を育成します。 4 地域課題の解決に向けて、教科等横断的な視点に立った協働的・探究的な学びを、地域と連携して実施します。

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
グラデュエーション・ポリシー	グラデュエーション・ポリシーの達成	グラデュエーション・ポリシーに沿って生徒が成長していると感じる教職員の割合7割以上	B	86%以上の教職員がグラデュエーション・ポリシーに基づいた生徒の成長を実感しながら教育活動に取り組んでいる。	全教職員がスクール・ミッションを踏まえ、グラデュエーション・ポリシーの達成を目指して、各部署で具体的な取組を計画し実行していきたい。
学習指導	生徒の適性・能力に応じたきめ細かい分かる授業	教職員のICT機器利用率100% A:100%、B:80%、C:70%、D:60%、E:50%以下	B	84%以上の教職員が積極的にICTを活用し分かる授業に努めている等、一定の成果が上がっていることが分かる。	AIなどの新しいICTも積極的に学習活動に取り入れる等、さらに活用を押し進め、個別最適な学習に繋げていきたい。
	計画的な学習と基礎学力の定着	考查前の学習計画と実施率100% A:90%、B:70%、C:55%、D:40%、E:30%以下	C	94%の教職員が考查前に計画的に学習するよう指導しているが、生徒対象の結果を見ると、計画を立て実行できている生徒は52%に留まっている。	自走力が身に付くまでは、教員側でこまめにチェックすることが必要であると思われる。特に、考查前に立てた計画が、テスト中にどの程度実行できたかを確認する等、事後指導しっかりと行っていきたい。

生徒指導	ルール・マナーの向上	登下校時の交通事故0件 A:0件、B:10件、C:20件、D:25件、 E:30件以内	C	重大事故はないが、軽微な自損事故を含めて20件程度発生している。アンケート結果には現れていないが、ヘルメットの着用状況や交通法規の遵守状況については、まだ不十分な業況が散見される。	校内外での交通指導や交通安全教室、HR活動等、日頃からこまめな指導を行い、交通安全についての意識高揚を図っていききたい。また、事故対応についての指導も強化したい。
	落ち着いた学校生活	校則の遵守を実践できている生徒100% A:100%、B:80%、C:70%、D:60%、 E:50%以下	B	91%の生徒が校則の順守を意識できている他、教職員からの指導も効果的に行われている等、目標がほぼ達成されている。	今後も身だしなみ指導や校則の順守についての指導を行っていききたい。また、校則の変更を生徒を中心に行わせるなど、主体的な学校づくりに努めていききたい。
進路指導	進路に応じたキャリア教育	進路決定率100%、国公立大学進学5名以上 A:100%、B:80%、C:70%、D:60%、 E:50%以下	B	3年生で2名（進学希望1名、就職希望1名）の生徒が進路先が未決定である。国公立大学は7名合格をいただいた。私立大学は指定校推薦入試受験者が減少し、公募制推薦入試受験者が増加した。	概ね目標を達成することができた。今後、生徒や保護者の意向を十分聞きながら、適切な進路を提案し、目標達成に努めたい。また、就職者が全体の4割程度いるので、離職者を減らすための効果的な方法も考えていきたい。
特別活動	生徒が輝ける学校	大会入賞運動部30以上、文化部10以上、農業クラブ3以上 A:100%、B:80%、C:70%、D:60%、 E:50%以下	A	大会入賞数 運動部36、文化部（文化的活動を含む）11、農業クラブ4	目標を達成することができた。今後、上位大会入賞等、更なる高みに向けての取組を進めていききたい。そのために、外部指導者の活用や生徒の主体的な活動の推進等をさらに推し進めていききたい。
	地域に貢献できる人材の育成	地域交流活動40回以上 A:40回以上、B:30回以上、C:20回以上、 D:10回以上、E:10回未満	A	園芸クリエイト科（39）回 家庭クラブ（9）回 しまなみコンプロジェクト（5）回 子ども食堂（44）回 生徒会（3）回 図書委員会（3）回 吹奏楽部（10）回 放送部（4）回 ボート部（3）回 ジョブウイーク（2年） 常盤地区老人クラブ交流会（1年）	目標を達成することができた。今後、地域の抱える課題の解決に向けた探究活動や生徒の進路実現につながる活動、豊かな心を育む活動等を積極的に取り入れていき、魅力ある学校づくりに努めていききたい。

豊かな人間性	明るく元気な学校	挨拶ができる生徒100% A:100%、B:80%、C:70%、D:60%、 E:50%以下	B	98%の教職員が挨拶を率先して行っているが、生徒は80%にとどまっている。	概ね良好な状況であるが、時節に応じた挨拶が十分にできているとは言えない状況である。今以上に教員から積極的に挨拶していきたい。また、挨拶から良好な人間関係が始まることを伝える等、継続して指導をしていきたい。
	よりよい社会と人間関係の構築	高い人権尊重の意識を持っている生徒100% A:100%、B:80%、C:70%、D:60%、 E:50%以下	B	ほとんどの教職員が、創意工夫をしながら指導に当たっている。生徒も93%が人権意識を高める態度を身に付けようとしている。	HR活動においては、担任相互に資料や情報の共有をすることで、より統一感のある取組にしていきたい。また、日常的な指導を通して実践的な力を身に付けさせていきたい。
運営学校	業務改善	会議時間の所要予定時間以内終了 A:90%以上、B:80%以上、C:70%以上、 D:60%以上、E:60%未満	B	80%の達成率であった。	審議が必要な議題に関しては慎重審議しつつ、会議時間の短縮に努めていきたい。

※ 評価は5段階（A：十分な成果があった B：かなりの成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった）とする。